

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年10月13日（木）現在

【 果 樹 】

<ナシ>

気温の低下と売り場面積の縮小にともない一時より荷動きは鈍化。ただ、入荷量もしており、相場は保合で推移

「あきづき」 特秀 24 玉 3,500 円、秀 3,000 円 特秀 28 玉 3,800 円 秀 3,300 円
「新 高」 特秀 18 玉 2,800 円 秀 2,600 円 特秀 20 玉 3,000 円 秀 2,800 円

<リンゴ>

全体的にまずまずの荷動きだが、これまで高値で推移していた長野県産の中生種など一部では、重たい雰囲気は漂い始めている。

「シナノスイート」 特秀 28 玉 3,500 円 秀 3,000 円 赤秀 2,500 円
特秀 32 玉 3,200 円 秀 2,800 円 赤秀 2,300 円

【 野 菜 】

<きゅうり>

各産地横ばい程度で数量の少ない状況が続いている。気温の低下から末端消費は鈍く荷動きが弱い
ため、保合での販売展開となる見通し。

@ A2,000 円 ~ 1,800 円

<ミニトマト>

愛知県産等西南暖地の後続産の生育が緩慢な状況から、数量の少ない状況となっているため、高
値維持の保合展開となる見通し。

@ AM 170 円 ~ 150 円

<さやいんげん>

九州産の低調な入荷と東北産も終盤となるため、全体量は非常に少ないが、相場の高騰により末
端の荷動きは鈍い状況から、保合での展開となる見通し。

@ A 3,500 円 ~ 3,000 円